

銀の風

高校生一日看護体験

8月5日、県内の高校生を対象に看護体験を行いました。

※3頁に関連記事

Vol.36

2022.10

『銀の風』は世界遺産「石見銀山遺跡」から着想を得ています。「石見銀山遺跡とその文化的景観」は人類の平和と人権の尊重をめざすユネスコの世界遺産に登録されています。



○診療科プロフィール「神経内科」
／認知症スキルアップ講演会
○オレンジカフェ／高校生一日看護体験
○世界糖尿病デー／出前講座／地域連携研修会
／外来診療一覧／編集後記

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

常勤医師による診療科の紹介

シリーズ 診療科プロフィール



脳神経内科は、脳・脊髄・末梢神経や筋肉を専門とする診療科です。内科の中の専門科の一つとしてつい最近まで神経内科と呼ばれていましたが、心療内科や精神神経科との区別がつきにくいなどの理由で、※脳神経内科と改称されました。専門とする病気には、脳梗塞などの脳血管障害、認知症や、神経難病と言われる様々な病気、例えばパーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症など。また、髄膜炎や脳炎、てんかん、筋無力症、筋炎、末梢神経障害などがあり、脳や神経に関わる多くの病気が対象です。

どんな検査がありますか？

脳神経内科の使用する診断装置に、核磁気共鳴画像(MRI)、放射線シンチカメラ(SPECT)、脳波、筋電図などがあり、いずれも大田市立病院にて検査可能です。MRIは、磁気を用いて体内の水分子の挙動

を画像化する方法で、脳の細かな解剖学的構造を把握することが出来ます。加えて、脳の血流や神経連絡を描出したり、萎縮の程度を統計学に評価することも可能となっています。SPECTは、放射性同位元素で標識した薬剤を投与し、その体内分布を画像化する方法で、組織の機能や病気の活動性などを知ることが出来ます。その他、頸動脈の超音波装置で、頭に行く主要な血管の動脈硬化の程度や血流を測定することもできます。これらの診断装置を利用して、脳の萎縮分布を評価し認知症の病型診断に用いたり、血のめぐりが悪くなっている脳部位を同定し血栓を溶かす、あるいは取り除く治療の適応を図ったりします。

脳神経に関わる症状には、どんなものがありますか？

脳神経の異常に関わる症状は、頭痛やしびれ、めまい、ふらつき、物忘れ、ふるえ、けいれん、動作緩慢、麻痺、

意識障害などと多彩です。何科にかかったら良いのか、最初からご自分では分からないことも少なくないかもしれません。大田市立病院では総合的な診療に力をいれており、その担い手の育成とともに、多臓器にわたる複合的な病態への関わりや優先度に応じた治療選択を常に考えています。これってどこの病気かわからないけれどといった病態に対しても、専門科と協力し適切な支援が行われる体制を目指しています。

来院される皆様へ

これってひょっとして脳・神経？と思うことがあれば、ご相談ください。令和4年10月現在、当院では、常勤医1名と島根大学医学部よりの派遣医師2名の脳神経内科専門医が外来での診療にあたっています。専門外来の診療日は毎日ではありませんが、初めての方は初診外来を受診の際に担当医にご相談いただければと思います。

大田圏域
認知症
スキルアップ講演会

8月18日、大田圏域認知症疾患医療センターと大田総合医育成センターとの共催でハイブリット型の講演会が開催され、約43名が参加しました。

認知症の診断基準・病態・病理を踏まえた、認知症各病型の画像診断の特徴や使い方についての講演、そして、認知症の周辺症状の重症化を

防ぐためには、早期の対応と「認知症でも地域で穏やかに暮らしていける社会」が大切であることや、非薬物療法・薬物療法についての解説などが行われました。

「“認知症”は地域全体での啓発が必要」として参加者は熱心に耳を傾けていました。



始まりました！

オレンジ カフェ

日時：毎月第2水曜日 午前10時～

場所：大田市立病院 1階
多目的室（売店横）



“認知症になっても住みやすい町づくり”を目指す任意団体「RUN伴（らんとも）しまね」が、オレンジカフェを開催。大田市内では4か所目となり、平日に開くのは初めて。医療・保健・福祉の専門家や当事者会の方が窓口となり、認知症とその支援に関する情報提供や相談を行います。

カフェに駐在する専門家は毎回変わり、各々の得意分野や経験から様々な話を聞くことができます。

当事者本人が“主役”になれる場所

県内で約50か所開催されているカフェですが、その多くが、当事者以外の家族同士が話をする場となっています。当事者本人が施設に入所していたり、その場所に行くことが難しかったりするためです。病院であれば、家族と一緒に、当事者本人も“通院のついで”に来ることができます。

相談窓口への橋渡し

専門施設へ出向くよりも訪れやすく「どこへどんな相談をすればいいか」など、初歩的なことから気軽に相談することができます。

身近な存在になるように

カフェが「ここにすれば話を聞いてくれる」という身近な心の支えとなることを願い、定期的開催を予定されています。訪れた人の話を聞いて、希望があれば勉強会や講演会する等、訪れた人と一緒にカフェを作っていきたい、とのことです。



高校生看護体験

8月5日、県内の高校生19名を対象に看護体験を実施しました。

病棟見学の後、看護師の1日の仕事について説明。高校生からの質問に看護師が答えました。



●3チームに分かれ、手洗いチェッカー、血圧測定、シュミレーターを使用した採血見学、車椅子やストレッチャーの移送・移乗などを体験。



●防護具着用体験
体験した高校生の感想

「暑くてきつい仕事だと思った。でも看護師さんの姿がカッコよく見えた。患者さんと接する姿が楽しそうで、やりがいのある仕事だと改めて感じた」

最後の振り返りでは「看護師からの声掛けが、入院患者さんの安心につながっていると感じた。自分も患者さんのことを考える看護師になりたい」「将来や進学の事をもう少し聞いてみたい」と、看護師の仕事に肌で感じたことで、改めて看護職への興味を持った様子でした。

今後も、コロナ禍が続くと思われますが、将来看護職を目指す高校生のために、出来る限り実施していきたいと思っています。



11月14日は“世界糖尿病デー”

糖尿病の予防や治療継続の重要性を周知するため、世界各地で糖尿病啓発キャンペーンが行われます。当院でも啓蒙活動を計画中です。

出前講座を開催しました



9月22日に温泉津町福光で、当院の本田診療放射線技師による出前講座『画像検査からわかる認知症』を開催。10名が参加しました。

検査画像と認知症の症状との関係や、病院での認知症検査の流れ、その中で画像診断がどのような役割を担っているか等を説明。「日々快活に、人との交流を図ることや趣味などが防止や症状の進行を遅らせることになる」といった、今すぐにでも始められる対策などの説明もあり、参加者は話に関心を寄せていました。

【出前講座を受付中】

詳細はホームページ、または、各まちづくりセンターへ配布していますチラシをご覧ください。

※ 感染予防対策がとれることを条件としています。感染状況によって延期、中止となる可能性があります。

第2回 地域連携研修会

この研修会がWebで開催され、地域医療に携わる約100名の参加がありました。症例におけるかかりつけ医として参加された、やまうち内科の山内克実先生は、



「研修会をとおり、多職種連携の大切さを改めて実感した」として、研修医の質問にも丁寧に答えてくださいました。

●当院では、地域との連携を強化するため、今年度から「地域連携支援プロジェクトチーム」を発足。その活動の一環として、地域の医療・介護・福祉の連携向上等を目的に、地域連携研修会を開催しています。

外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約のかたのみ) 令和4年10月1日 現在

診療科		月	火	水	木	金
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●		
	呼吸器内科	●	●			●
	消化器科		●		●	
	循環器科		●	●	●	
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●	●	●	●	●
	整形外科	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●	●	●		●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
専門外来	眼科	●※2			●※2	●※2
	耳鼻咽喉科		●		●	
	総合診療科		●		●	
	リウマチ外来	○※3			○※3	
	腎臓内科		○			
	血液・腫瘍内科			●	●	
	ペースメーカー外来					○※4
	小児神経外来				○※5	
	小児心臓外来		○			
	発達障害外来				○※6	
	乳児健診		○			
	小児予防接種					○
	緩和ケア				○※7	
	乳がん検診			○※8		

【受付時間】 8:30~11:00

(予約のかたはこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 初めて受診されるかたは予約が必要です
(紹介状をお持ちのかた、長期間受診のないかたを含みます)
- ※2 初めて受診されるかたは 8:30~10:30
- ※3 隔週月曜日・隔週木曜日 ※4 第2金曜日 14:00~16:00
- ※5 第1木曜日 ※6 第1または第2木曜日 ※7 第3木曜日
- ※8 第2・第4水曜日
前週の火曜日または木曜日にレントゲン撮影があります

～編集後記～

“暑さ寒さも彼岸まで”とはよく言ったものです。朝晩がめっきり涼しくなり、もう秋ですね。

秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋です。私はスポーツよりは食欲ですね。おいしいものをたくさん食べて、ストレス発散したいものです。



(T.S)

大田市立病院の様々な情報をホームページ・facebookに掲載しています。



大田市立病院
島根県大田市大田町吉永1428-3



facebook いいね!
大田市立病院

発行
大田市立病院 広報委員会
〒694-0063
島根県大田市大田町吉永1428-3
TEL:0854-82-0330
FAX:0854-84-7749